

昆陽池（こやいけ）公園 多目的広場トイレ



外観

公園の自然景観に調和するよう、屋根や壁に木材を使用し曲線を活かした意匠により、親しみやすく柔らかい雰囲気の外観。3つの棟を大屋根でつなげ、大屋根と外壁の間に空間を設けることで、採光と通風を確保している。



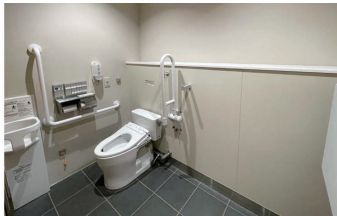
男性トイレ
洗面・小便器コーナー

洗面コーナーには、手を差し入れやすいセルフリング式洗面器を採用。手すりを設置した洗面の足元には、空間を設けている。小便器は、シンプルなデザインで大幅な節水を実現した自動洗浄小便器を設置している。



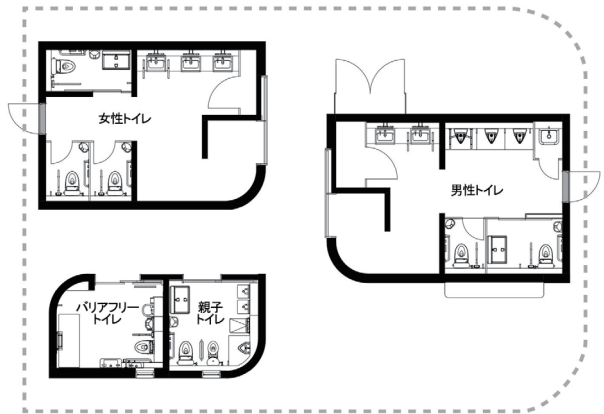
男性トイレ 大便器ブース

パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用し、ウォシュレットも完備。乳幼児を連れた方に配慮して、ベビーシートやベビーチェアを設置しており、快適に利用できる。



図面

3棟構成とし、採光・通風に配慮。建物の間からは隣接する昆陽池が望める。曲線デザインは親しみやすさを演出。広場側ベンチは休憩に最適。各トイレの入口は外からの視線に配慮し、建屋の内側に配置されている。



水まわりの特長

建物の特徴

「昆陽池（こやいけ）公園」は、奈良時代、僧行基によって築造されたと伝えられている昆陽池のまわりを、緑あふれる公園として整備した、伊丹市民の憩いの場所。都市部では珍しい野鳥のオアシスとして知られる豊かな自然環境に、伊丹市昆虫館、さまざまなイベントが開催される草生地広場・多目的広場があり、たくさんの人が訪れている。公園内には3ヶ所の屋外トイレを設置しているが、その中でも、多目的広場のトイレは老朽化がすすみ、暗い・狭い・怖いといった声もあったことから、2024（令和6）年11月にリニューアル。市民に、より安心・安全に使ってもらえるよう「人にも環境にもやさしく、災害に強いトイレ」を目指し、設計段階から入念な検討を重ね、だれもが快適に使えるトイレが完成した。

トイレの特長

トイレは、だれもが安心して快適に利用できることを目指して、男女別トイレと、バリアフリートイレ・親子トイレの3棟を、大屋根でつないだ構成。地域住民や公園利用者、障がい者団体など、さまざまな利用者からの意見を取り入れ、広々とした通路や大便器ブース、すべての大便器の両側に手すりを設けるなど、設計に生かしている。建設においては、環境負荷低減を重視し、屋根に太陽光発電設備を設置。発電した電力を蓄電池に貯蔵し、トイレの消費電力に利用することで、年間消費エネルギーを実質ゼロ以下にする「ネット・ゼロ・エネルギー」を実現している。さらに、環境に配慮して木材を積極的に活用するなど、災害時にも安心して利用できる、環境にも人にも優しいトイレとなっている。

建築概要

名称	昆陽池（こやいけ）公園 多目的広場トイレ
所在地	兵庫県伊丹市昆陽池3-1
施主	伊丹市役所
設計	意匠 伊丹市役所 構造 阪急設計コンサルタント株式会社
施工	建築 有限会社 畑中工務店 設備 共栄電工株式会社
竣工年月	2024年10月
敷地面積	769.41㎡
建築面積	139.47㎡
延床面積	117.01㎡
構造・階数	木造、一部鉄筋コンクリート造・地上1階

おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS498B系
ウォシュレット アプリコットP(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF5831AUY
自動洗浄小便器:UFS900WR／ノイドロセラ・フロアPU:AB690BR
壁掛ハイバック洗面器:LSB125AA／洗面器:LS351CM／台付自動水栓:TLE28SS1W
コンパクト・バリアフリートイレバック:UADBZ61RIA1ADN1WA
幼児用大便器:CS300B／幼児用小便器:U310GY／ベビーシート:YKA25系
ベビーチェア:YKA15S／フィッティングボード:YKA41R



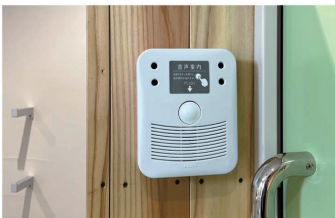
女性トイレ

男性トイレとはタイルの意匠を変えた洗面コーナー。自動水栓や水石けん入れ、化粧直しがしやすいLED照明付鏡を完備。また、大便器ブースの壁を天井まで立ち上げ、防犯対策を図るとともに安心感も高めている。



バリアフリートイレ

障がい者団体の意見を参考に、間取り・レイアウト、設備、点字ブロックなどを設計。2ヶ国語対応の音声案内装置も設けている。大型車いすでもスムーズに移動できるように広い空間を確保している。



親子トイレ

子育て世代に配慮して、お子様と一緒に利用できる親子トイレを設置。幼児用大便器や幼児用小便器、あふれ面違いの洗面器などのほか、パンタタイプのおもつつ替えに対応できるフィッティングボードも備えている。



防犯対策

深夜の防犯面を考慮して夜間には使用不可とし、出入口は自動で施錠する仕様。閉込め防止のため、内側からの開錠は可能となっている。一部に呼出ボタンが設置され、トイレ前の照明柱には防犯カメラも配置している。



環境配慮

屋根や壁には、製造や加工の際に要するエネルギー消費量を抑えられる木材を使用。さらに、太陽光パネルと蓄電池により、トイレの使用電力を賄う「ネット・ゼロ・エネルギー」を実現している。



災害対応

耐震性や耐火性のあるCLT材を屋根や壁に使用。さらに、太陽光発電と屋外用蓄電池によって、停電時でもトイレの灯りや災害用コンセントなど必要な電力も確保。断水時は、隣接する池の水を利用しトイレが流せる。

